

教育課程実施状況調査 小学校 社会

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
588人	28問	59.4	65.4	-6.0

		県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	国土	54.9	61.4	-6.5
	農水	54.3	60.1	-5.8
	工業	62.1	68.5	-6.4
	情報	81.6	85.2	-3.6
	環境	46.1	53.7	-7.6
観点	知識・技能	57.8	64.8	-7.0
	思考・判断・表現	62.7	66.7	-4.0
	主体的に学習に取り組む態度	55.8	59.6	-3.8
解答形式	選択式	61.0	66.2	-5.2
	短答式	52.9	61.5	-8.6
	記述式	62.8	68.6	-5.8

設問別正答率

通し 番号	解答 形式	観点			領域				問題の内容	出題のねらい	県正 答率 (%)	全国 正答 率 (%)	全国 との 差	
		知	思	態	国土	農水	工業	情報						環境
1	選択	◎			◎					世界中の国土	南アメリカ大陸の名称と南アメリカ大陸に位置する国の国旗について理解している。	38.1	38.2	-0.1
2	選択	◎			◎						日本の領土の範囲について理解している。	72.6	73.5	-0.9
3	記述		◎	◎	◎						海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成について、地図をもとに考え、表現している。	50.2	57.2	-7.0
4	選択	◎			◎					日本の国土と人々のくらし	日本の主な地形の名称と位置について理解している。	44.6	64.3	-19.7
5	選択	◎			◎						季節風についての理解をもとに、太平洋側の気候の特色を雨温図から読み取っている。	47.1	52.7	-5.6
6	短答	◎			◎						台風について理解している。	76.7	82.7	-6.0
7	短答	◎			◎					日本の農業	品種改良について理解している。	20.7	28.1	-7.4
8	選択		◎	◎	◎						農業が抱える課題を解決するための取り組みについて考えている。	90.6	93.1	-2.5
9	選択	◎			◎					日本の水産業	日本近海の漁獲量の多い港の特徴について、資料を読み取っている。	57.3	73.0	-15.7
10	選択		◎		◎						さいばい漁業の利点について、資料をもとに考えている。	59.2	63.6	-4.4

11	短答	◎				◎					農産物の生産額の割合についてグラフにまとめている。	56.5	58.9	-2.4
12	選択	◎				◎					日本の主な食料の自給率について理解している。	42.3	49.4	-7.1
13	選択		◎				◎				輸入などの外国との関わりにおける課題について考えている。	62.8	67.0	-4.2
14	選択		◎	◎			◎				地産地消の取り組みについて、複数の資料をもとに判断している。	44.7	47.3	-2.6
15	選択	◎						◎			自動車の製造工程について理解している。	87.4	93.9	-6.5
16	記述		◎	◎				◎			自動車工場を支える関連工場の役割について、資料をもとに考え、表現している。	75.5	79.9	-4.4
17	選択	◎						◎			自動車の部品を再利用する目的について理解している。	77.2	87.1	-9.9
18	選択	◎						◎			日本の主な工業地帯・工業地域について理解している。	44.0	47.1	-3.1
19	選択	◎		◎				◎			さまざまな輸送機関の特徴についての理解をもとに、資料を読み取っている。	52.4	51.8	0.6
20	選択	◎						◎			日本の主な輸出品・輸入品について理解している。	50.3	52.4	-2.1
21	短答	◎						◎			中小工場について理解している。	48.0	67.4	-19.4
22	選択	◎						◎			さまざまなメディアの特徴について理解している。	89.8	95.1	-5.3
23	選択		◎					◎			産業における情報活用の現状について考えている。	67.7	67.7	0.0
24	短答	◎						◎			情報通信機器の利用について、資料を読み取っている。	85.5	88.6	-3.1
25	選択		◎					◎			情報の発信と受信の注意点について考えている。	83.5	89.3	-5.8
26	選択	◎							◎		森林を守るための間伐について理解している。	78.6	82.7	-4.1
27	選択		◎	◎					◎		自然災害は国土の自然条件などに関連して発生していることについて、資料をもとに考えている。	29.9	34.9	-5.0
28	短答	◎							◎		公害について理解している。	29.8	43.5	-13.7

【観点について】

(知)知識・技能、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】

(国土)国土の自然などの様子、(農水)農業や水産業、(工業)工業生産、(情報)産業と情報との関わり、(環境)国土の自然環境と国民生活

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

【成果が見られる設問】

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
8	90.6	93.1	選択	-2.5
問題の内容	日本の農業			
出題のねらい	農業が抱える課題を解決するための取り組みについて考えている。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
19	52.4	51.8	選択	0.6
問題の内容	日本の工業生産			
出題のねらい	さまざまな輸送機関の特徴についての理解をもとに、資料を読み取っている。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
23	67.7	67.7	選択	0.0
問題の内容	情報を生かした産業			
出題のねらい	産業における情報活用の現状について考えている。			

【課題が見られる設問】

★次のページに、通し番号4「日本の国土と人々の暮らし」に関連した授業例を提示

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
4	44.6	64.3	選択	-19.7
問題の内容	日本の国土と人々の暮らし			
出題のねらい	日本の主な地形の名称と位置について理解している。			
授業改善の手立て	日本の国土の様子と国民生活について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「日本の地形や気候にはどのような特色があるか」、「人々は地形条件や気候条件をどのように生かしているか」等の問いを設けて、個々の児童が、調べたり、国土の位置と地形や気候を関連付けて国土の特色を考えたり、国土の自然環境と国民生活の関連を考えたりして、調べたことや考えたことを表現することを通して、日本の国土の地形や気候の概要について理解を目指すような展開が考えられる。 ※第4学年「県内の伝統や文化、先人の働き」や第6学年「我が国の歴史上の主な事象」の内容の取り扱いで世界遺産や日本遺産を取り上げることが明記されていることを踏まえ、系統的に教材を選ぶという視点も考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
9	57.3	73.0	選択	-15.7
問題の内容	日本の水産業			
出題のねらい	日本近海の漁獲量の多い港の特徴について、資料を読み取っている。			
授業改善の手立て	日本の食料生産について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「どこでどのようなものが生産されているか」、「生産量はどのように変化しているか」、「外国とどのような関わりがあるか」「なぜ、〇〇では水産業がさかんなのか」等の問いを設けて、個々の児童が、調べたり、食料生産と国民生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現することを通して、日本の食料生産の概要についての理解を目指すような展開が考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
21	48.0	67.4	短答	-19.4
問題の内容	日本の工業生産			
出題のねらい	中小工場について理解している。			
授業改善の手立て	日本の工業生産について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「日本はどのような工業がさかんか」、「工業のさかんな地域はどのように広がっているか」、「工業製品はどのように改良されてきたか」等の問いを設けて、個々の児童が、調べたり、工業製品と国民生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現することを通して、日本の工業生産の概要についての理解を目指すような展開が考えられる。 ※第5学年内容(3)ア(イ)に関連した単元で、工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解した上で、日本の中小工場について再考する場面を設定することも考えられる。			

こんな姿をめざしたい!!



自ら課題を捉え、学習を調整しながら 追究する児童

課題の見られる設問 ①(2) ②(1)

【日本の国土と国民生活】

- 日本の海岸線が長い理由について、地図を参考にして記述する問題。
- 日本の主な地形の名称と位置について、地図から選択する問題。

分析と課題

- 基本的な用語や地図やグラフの読み取り等の知識・技能の定着に課題が見られる。
- 社会的事象の特色の説明に課題が見られる。

課題改善のために...

- 身に付けさせたい資質・能力の明確化
- 社会的事象の見方・考え方を働かせた問題解決的学習の実施
 - ・課題設定の工夫
 - ・学習者主体の学びの視点からの学習過程の工夫



5 学年の学習で...

日々の学習における改善・充実

※本時刻は、学習指導要領第5学年内容(1)ア(7)を基に単元を構成した際の、単元中の1時間を想定したものである。学習指導要領で示された理解項目の習得のためには単元全体をデザインする等、系統的な視点も重要である。(R4「授業改善のpoint」参照)



学習指導要領の理解項目について、児童一人一人が調べ、まとめる中で理解できるようにするためには...

授業改善の POINT

児童は課題意識をもっていますか？

児童が課題の解決を目指して資料を活用して追究していますか？

児童が協働的な学びから自らの学びを振り返り、調整しようとしていますか？

児童は課題追究を通して理解できていますか？また、新たな課題を見出していますか？

これは、日本と中国の海岸線の長さですが...



えっ？面積は小さいのに、なぜ日本の方が海岸線が長い？



日本の国土の様子に関しているのではないかな？

児童の疑問を引き出す工夫をしていますか？

日本の国土は、どのような様子なのだろう？

私は、教科書(地図帳)を使って調べ、まとめてみます。



資料集も使って、さらに情報を集めてみよう。



あっ！〇〇さんのこの語彙、参考にさせてもらおう。



私は、教科書などで調べ終わったから、インターネットを使って他の国の様子も調べてみよう。

児童とともに、理解させたいことにつながる単元の学習問題や各時間の学習課題を設定していますか？

情報収集、読み取り、まとめ等の指導を積み重ねた上で、学習活動を児童に委ねてみませんか？

調べてみて日本の国土は、世界の国と比べてみると島が多いことがわかったよ。



世界の中で、どれくらい多い方なのだろう？

調べたことを友達に説明していたら、自分の理解が十分でないところがわかったぞ。もう一度まとめを見直してみよう。



どこからどこまでを日本の国土というのでしょうか？



児童の様子を見ながら、位置や空間的な広がり等の「見方」、比較等の「考え方」を意識できる支援をしていますか？

比較するためにはどのような資料が必要でしょうか？

「島が多い」ということはどんな影響があるのでしょうか？

日本の国土について次のことがわかりました。
・ユーラシア大陸の東に位置している。
・海に囲まれている。
・4つの大きな島のほかにもたくさんの島がある。
また、世界の国々と比べると海岸線が長いのは、島国であることと関係していることがわかりました。



海のない国では、どのような生活をしているのだろうか？



島国である日本ではどのような生活をしているのかな？

「第5学年 2内容(1)ア(1) 我が国の国土の様子と国民生活」の学習へ

児童が、社会的事象の見方・考え方を働かせて、
学習問題を追究する問題解決的な学習過程の工夫をしよう！